

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	網走西
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 6 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 5 9 , 3 4 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 7 6 1 , 5 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 8 , 1 7 2	畑地の排水改良、土層改良による単収の増加 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 1 , 1 7 2	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい
計		1 5 9 , 3 4 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東藻琴西部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 2 7 8 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 3 2 , 8 6 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 4 1 0 , 2 6 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 9 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 6 7 , 4 2 4	畑地の排水改良、土層改良、区画整理、農用地造成による作付拡大や単収の増加 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 5 , 4 3 8	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい
計		2 3 2 , 8 6 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	留辺蘂温根湯
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 9 6 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 8 5 , 4 8 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 6 1	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 3 1 8 , 9 7 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 5 , 3 6 1	畑地の畑地かんがい、排水改良、土層改良による単収の増加 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、たまねぎ、菜豆、牧草、デントコーン
	品 質 向 上 効 果	3 , 0 8 1	道路改良による農産物の品質が向上 対象作物：ばれいしょ、たまねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	5 3 , 0 3 1	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、たまねぎ、菜豆、牧草、デントコーン
	維持管理費節減効果	2 9 0	畑地かんがい施設、道路の改良、新設に伴う施設の維持管理費の節減及び増加 対象施設：畑地かんがい施設、道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	1 3 , 2 9 9	道路改良、新設による農産物等の 輸送にかかる経費の節減 対象施設：道路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 6 2	施設の更新による従前の農業生 産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	1 6 0	道路改良による一般交通にかか る経費の節減 対象施設：道路
計		2 8 5 , 4 8 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	生田原
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 7 9 2 , 8 7 2 千円	
年 効 用		2 8 3 , 8 2 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 6 4 2 , 5 8 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2 3 3 , 6 2 9	畑地の畑地かんがい、排水改良、土層改良による単収の増加 対象作物：小麦、てんさい、牧草、デントコーン、ねぎ、かぼちゃ、メロン等
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 4 , 8 2 4	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、てんさい、牧草、デントコーン、ねぎ、メロン、ブロッコリー
	維持管理費節減効果	3 , 9 1 9	畑地かんがい施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	4 8 5	関連事業による安全施設の設置に伴う安全性の確保

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	公共施設保全効果	1 5 , 3 4 2	関連事業により整備される施設に伴う振替道路等の更新による従前の農業生産の維持
	地 域 用 水 効 果	1 , 7 3 5	関連事業により整備される農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費軽減が図られる効果
	水辺環境整備効果	1 , 7 2 6	関連事業により整備される施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		2 8 3 , 8 2 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	川西北
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 9 1 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 1 8 , 5 4 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 7 8 7 , 6 2 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 9 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 7 7 , 7 9 7	畑地の排水改良、土層改良による単収の増加 対象作物：小麦、てんさい、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、ながいも、牧草等
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 0 , 3 0 5	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、てんさい、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、ながいも、牧草等
	維持管理費節減効果	4 6 8	排水路の改修、新設に伴う施設の維持管理費の節減及び増加 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 1 2	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		2 1 8 , 5 4 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	半谷・沓掛
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 3 9 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 4 9 , 2 8 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 5 0 7 , 7 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1 2 , 7 4 6	区画整理による作付面積の拡大 とかんがいによる単収増 対象作物：レタス、はくさい、 ねぎ、トマト、スイートコー ン、ほうれんそう、キャベツ
	品 質 向 上 効 果	2 , 7 7 3	道路舗装に伴う農産物輸送の際 の荷傷み防止 対象作物：レタス、はくさい、 トマト、キャベツ
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	7 , 2 9 0	農道改修等による走行経費の節 減 対象作物：水稻、レタス、はく さい、ねぎ、トマト、スイート コーン、ほうれんそう等
	営農経費節減効果	1 1 7 , 5 2 6	区画整理に伴う機械の利用効率 の向上 対象作物：レタス、はくさい、 ねぎ、トマト、スイートコー ン、ほうれんそう、キャベツ

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 , 9 0 6	用排水施設及び農道の新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農業用排水施設、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 , 8 1 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	2 , 2 8 0	農道の整備による一般交通に要する経費の増減 対象施設：農道
	非農用地創設効果	4 , 4 3 9	換地手法を用いて計画的に非農用地を円滑に創設することによる経費の節減 対象施設：農道、市道
	文化財発見効果	4 9 8	埋蔵文化財の具現化、文化的価値の明確化による効果
	地 籍 確 定 効 果	1 , 8 1 9	事業により地積が明確になる効果
計		2 4 9 , 2 8 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	三好下
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 2 0 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 2 5 , 3 5 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 4 , 0 7 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 4 1 5 , 2 6 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 8 , 6 1 1	土地利用率の向上に伴う作付面積増 対象作物：なし、かき
	品 質 向 上 効 果	8 , 7 1 9	道路整備により走行性が向上し 荷痛みが防止されるため発現する効果 対象作物：なし、かき、ぶどう、すいか、はくさい
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 0 , 6 4 3	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：ぶどう、すいか、はくさい
	維持管理費節減効果	2 , 8 6 8	農道及び用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道、用排水施設

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	4 , 8 8 9	道路整備による農作物等の輸送 に係る経費の低減 対象作物：なし、かき、ぶど う、すいか、はくさい
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	3 , 4 7 7	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境 の保全・向上	非農用地創設効果	3 , 9 7 9	換地手法を用いて計画的に非農 用地を円滑に創設することによ る経費の節減
	地 積 確 定 効 果	2 , 1 6 8	事業により地積が確定すること により発現する効果
計		1 2 5 , 3 5 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	奈良県	地区名	月ヶ瀬桃香野
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 5 4 , 4 5 3 千円	
年 効 用		9 0 , 9 7 1 千円	
廃 用 損 失 額		3 , 5 8 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 9 3 , 6 3 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4 0 , 3 0 3	農地造成、畑地かんがいによる 作付増減及び単収の増加 対象作物：水稲、茶
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 1 , 3 9 0	畑地かんがいによる労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物：茶
	維持管理費節減効果	2 , 3 9 3	用水施設、農道、排水施設の新 設に伴う施設の維持管理費の増 減 対象施設：用水施設、農道、排 水施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	1 , 1 1 8	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設：農道

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	公共施設保全効果	5 5 3	事業の実施により、施設の復旧 に伴う耐用年数の増加 対象施設：市道
計		9 0 , 9 7 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鳥取県	地区名	加勢蛇西 2 期
-----	-----------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		24,612,303 千円	
年 効 用		1,401,104 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		47 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0484	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	28,948,430 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.17	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	540,662	畑及び樹園地の用水路新設による作付け面積の拡大や単収の増加 対象作物：なし、すいか、だいこん等
	品質向上効果	71,092	用水路の新設及び道路の新設・改良に伴う畑地かんがい及び荷痛み防止による品質の向上 対象作物：なし、すいか、だいこん等
営農経費の節減	営農経費節減効果	128,118	用水改良による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：なし、芝、すいか等
	維持管理費節減効果	37,517	施設の新設・改修に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：用水路、道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費節減効果	260,454	道路の新設・改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：堆肥、飼料、すいか等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,356	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害軽減効果	191,474	利水ダムの運転により河川水量を付随的に制御することによる洪水被害の防止・軽減
	一般交通等経費節減効果	22,309	農道整備に伴う一般交通に要する経費の節減
	文化財発見効果	1,457	事業実施に伴い付随的に文化遺跡が具現化・継承
	公共施設保全効果	16,119	事業実施に伴い地域の利便性等が付随的に向上
	河川流況安定効果	196,234	水源開発に伴うほ場からの河川還元水の増加
	地域用水効果	385	消流雪用水等地域用水としての利用が増加
	水辺環境整備効果	5,961	ダム（関連事業）の新設に伴う親水空間の創出
計		1,401,104	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鳥取県	地区名	中山 2 期
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 5 , 5 7 3 , 2 1 4 千円	
年 効 用		9 5 2 , 9 6 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 7 , 4 5 3 , 5 3 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 8 , 6 2 7	畑及び樹園地の用水路新設による作付け面積の拡大や単収の増加 対象作物：なし、ブロッコリー、芝等
	品 質 向 上 効 果	2 9 , 9 4 4	用水路の新設に伴う畑地かんがいによる品質の向上 対象作物：なし
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	5 9 1 , 3 9 3	用水改良による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：ブロッコリー、芝、ねぎ等
	維持管理費節減効果	2 4 , 5 1 0	施設の新設・改修に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：用水路、道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	72,208	道路の新設・改良に伴う走行時間 の短縮による労働時間や機械 経費の節減 対象輸送作物：堆肥、なし、ねぎ等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	783	施設の更新による従前の農業生 産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	1,028	農道整備に伴う一般交通に要す る経費の節減
	文化財発見効果	1,053	事業実施に伴い付随的に文化遺 跡が具現化・継承
	公共施設保全効果	58,564	事業実施に伴い地域の利便性等 が付随的に向上
	地 域 用 水 効 果	2,003	防火用水としての機能が高ま り、防火施設の設置費用等の節 減
	地 籍 確 定 効 果	51	事業実施に伴い付随的に地積が 明確化
	水辺環境整備効果	1,819	ダム（関連事業）の新設に伴う 親水空間の創出
計		952,963	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	備中北部 2 期
-----	-----------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 5 9 0 , 0 9 1 千円	
年 効 用		2 4 1 , 2 7 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 7 9 3 , 5 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 1 , 1 0 0	水管理合理化による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象：畑作用水
	維持管理費節減効果	6 , 5 0 6	施設の新設に伴う施設の維持管 理費の増減 対象施設：営農用水施設
地域の生活環境 の保全・向上	生活用水確保効果	1 7 6 , 6 7 8	営農用水と一体的に施設整備す ることにより、生活用水が効率 的に確保される効果 対象施設：営農用水施設
計		2 4 1 , 2 7 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	広島県	地区名	重井 2 期
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 , 9 0 3 , 9 0 0 千円	
年 効 用		5 8 6 , 1 7 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 6 8	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 2 , 5 2 5 , 0 2 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 4 1 , 6 8 5	畑及び樹園地の用水路新設及び 道路新設による作付け面積の拡大や単収の増加 対象作物：花壇苗、キヌサヤ、みかん等
	品 質 向 上 効 果	9 , 3 2 2	道路の新設に伴う荷痛み防止による品質の向上 対象作物：キヌサヤ、花壇苗、わけぎ等
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 6 9 , 5 5 1	用水改良等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：キヌサヤ、かぼちゃ、みかん等
	維持管理費節減効果	9 , 1 0 5	施設の新設に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：用水路、道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	4 1 , 3 5 9	道路の新設に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：かき、堆肥、生産資材等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 4 , 6 4 3	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境 の保全・向上	非農用地創設効果	1 , 1 3 0	ほ場整備事業（関連事業）において換地手法を用いて公共用地等を創設
	安 全 性 向 上 効 果	3 , 5 9 5	道路の新設に伴うガードレール等の設置による安全性の向上
	農道環境整備効果	3 , 9 9 1	道路の新設に伴う周辺地域との調和のとれた景観の創出
計		5 8 6 , 1 7 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	長崎県	地区名	加津佐西部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,309,100千円	農業経営高度化支援事業費及び生活環境整備費を除く
年 効 用		91,987千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,594,229千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.21	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	24,511	生産基盤の整備による土地利用の向上及び畑かんによる単収の増加 対象作物：ばれいしょ、ブロッコリー等
営農経費の節減	営農経費節減効果	57,338	区画整理による作業・機械の省力化及び用水施設の整備による用水作業時間の節減 対象作物：ばれいしょ、ブロッコリー等
	維持管理費節減効果	3,828	区画整理(道路、排水路)及び用水施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：道路、排水路、用水施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	13,966	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、排水路
計		91,987	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	大萩
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 3 8 0 , 1 0 0 千円	
年 効 用		1 4 4 , 1 1 0 千円	
廃 用 損 失 額		9 , 9 4 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 7 6 1 , 3 9 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 3 9 , 4 4 5	生産基盤の整備による土地利用の向上及び単収の増加 対象作物：ほうれんそう、しょうが等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5 , 4 5 3	用水施設の整備による維持管理費の増加及び排水路の整備による維持管理費の節減 対象施設：用水施設、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 0 , 1 1 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		1 4 4 , 1 1 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	弘川第1（2期）
-----	-----------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 , 8 1 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 5 3 , 2 2 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 , 4 5 5 , 6 7 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 1 9 , 2 1 2	畑地かんがいによりに作物転換、 作付面積拡大 対象作物：かんしょ、さとい も、ごぼう、らっきょう、飼料 等
	品 質 向 上 効 果	2 , 0 4 1	舗装道に改修することにより作 物の荷傷みを防止する効果。 対象作物：さといも、ピーマ ン、きゅうり等
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 2 , 7 3 1	関連事業・国営都城盆地土地改 良事業の営農経費を計上
	維持管理費節減効果	3 4 0	用排水施設等の改修、統廃合に 伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	9 , 4 7 4	農道工の車種転換及び走行速度 増加等による輸送経費の節減。 対象作物：かんしょ、さとい も、ごぼう、らっきょう、飼料 等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	9 , 4 2 6	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設：道路
計		4 5 3 , 2 2 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	山
-----	-----------	-------	------	-----	---

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 5 7 7 , 4 6 9 千円	
年 効 用		2 0 2 , 0 3 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 7 4 1	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 7 2 6 , 5 0 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	204,911	生産基盤の整備による土地利用の向上及び単収の増加 対象作物：さとうきび、飼料作物等
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,362	用水施設の整備による用水作業時間の節減 対象作物：さとうきび、ばれいしょ等
	維持管理費節減効果	8,295	関連事業・国営徳之島土地改良事業の維持管理費節減効果を計上
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,606	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用水施設

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	地域資産保全・向上 効果	4 5 0	用水施設の整備により、公共施 設の更新が図られる 対象施設：町道
計		2 0 2 , 0 3 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	天南兼久
-----	-----------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 0 1 0 , 7 7 2 千円	
年 効 用		2 4 0 , 0 2 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 7 6 5	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 1 3 7 , 5 6 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	2 4 0 , 8 5 4	生産基盤の整備による土地利用の向上及び単収の増加 対象作物：さとうきび、飼料作物等
営農経費の節減	5 , 0 2 7	用水施設の整備による用水作業時間の節減 対象作物：さとうきび、ばれいしょ等
	9 , 7 9 7	関連事業・国営徳之島土地改良事業の維持管理費節減効果を計上
施設更新による従前の農業生産の維持	1 , 4 4 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用水施設

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	地域資産保全・向上 効果	2 , 4 9 4	用水施設の整備により、公共施 設の更新が図られる 対象施設：町道
計		2 4 0 , 0 2 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	芦清良
-----	-----------	-------	------	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 6 3 7 , 7 7 2 千円	
年 効 用		2 1 7 , 7 3 8 千円	
廃 用 損 失 額		4 , 8 6 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 1 8 2 , 4 0 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2 0 5 , 1 5 2	生産基盤の整備による土地利用の向上及び単収の増加 対象作物：施設園芸、葉たばこ等
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 6 , 0 7 8	用水施設の整備による用水作業時間の節減 対象作物：ばれいしょ、葉たばこ等
	維持管理費節減効果	7 , 4 9 5	用水施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：用水施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 6 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用水施設

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	地域資産保全・向上 効果	3 , 2 3 8	用水施設の整備により、公共施 設の更新が図られる 対象施設：町道
計		2 1 7 , 7 3 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	小浜
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 1 6 5 , 5 0 0 千円	
年 効 用		6 1 , 5 1 9 千円	
廃 用 損 失 額		1 4 , 0 1 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 0 1 , 7 7 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	6 5 , 5 7 4	畑かん整備による作物の単収増が図られる 対象作物：さとうきび、にがうり、ミニトマト、食用かんしょ、小菊、アンスリウム等
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 8	畑かん整備により、車両・人力等で灌水していた営農費の節減が図られる。
	維持管理費節減効果	4 , 7 6 1	畑かん施設、農道を整備することにより維持管理費が必要となってくる。
	走行経費節減効果	6 3 8	農道を新設することにより走行経費が節減される。
計		6 1 , 5 1 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	洲鎌
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 1 0 3 , 1 5 1 千円	
年 効 用		1 2 6 , 0 5 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 3 3 8 , 7 0 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	9 3 , 2 1 6	ほ場集約、整形化等による転作 作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、葉たば こ、マンゴーメロン、とうが ん、にがうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 , 4 1 3	ほ場の集約、整形化等による労 働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	7 , 8 3 7	農道、排水路整備により、これ らの維持管理費が必要となる。
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 2 , 2 6 4	土砂流出防止（石積、グリーン ベルト）、沈砂池等の設置によ り、周辺地域等への耕土流出防 止が図られることによる水辺環 境の保全
計		1 2 6 , 0 5 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	西原第1
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 8 6 7 , 2 1 0 千円	
年 効 用		1 1 7 , 6 5 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 1 8 2 , 7 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	8 2 , 3 2 8	ほ場集約、整形化等による転作 作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、かぼち ゃ、メロン、とうがん、トマ ト、マンゴー、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0 , 1 7 8	ほ場の集約、整形化等による労 働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	5 , 8 1 7	農道、排水路整備により、これ らの維持管理費が必要となる。
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	2 0 , 9 6 2	土砂流出防止（石積、グリーン ベルト）、沈砂池等の設置によ り、周辺地域等への耕土流出防 止が図られることによる水辺環 境の保全
計		1 1 7 , 6 5 1	